

【様式1】

平成22年度以降に競争性のある契約に移行予定のもの

(独立行政法人名:日本学術振興会)

契約名称及び内容	契約職等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約締結日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	随意契約によることとした業務方法書又は会計規程等の根拠条文及び理由	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	移行困難な事由	移行予定年限	備考
日独ラウンドテーブルに係る宿泊	独立行政法人日本学術振興会理事小野元之 東京都千代田区麴町5-3-1	平成22年1月20日	ホテルモントレ株式会社	仕様条件を満たす施設がこしかなかったため(会計規程第37条第1項第1号)	非公表	1,136,200円	-	-	仕様条件を満たす施設がこしかなかったためとして随意契約によることとしたが、仕様条件の見直し等により競争入札へ移行する。	平成22年度	
アジア・ヨーロッパ物理学の会場使用等	独立行政法人日本学術振興会理事小野元之 東京都千代田区麴町5-3-1	平成22年3月19日	つくばコンgresセンター代表団体 財団法人茨城県科学技術振興財団	仕様条件を満たす施設がこしかなかったため(会計規程第37条第1項第1号)	非公表	2,220,374円	-	-	仕様条件を満たす施設がこしかなかったためとして随意契約によることとしたが、仕様条件の見直し等により競争入札へ移行する。	平成22年度	

【記載要領】

1. 本表は、「随意契約見直し計画」の対象となっている契約を対象とすること。
2. 本表は、平成21年度に締結した契約のうち、平成22年度以降に競争性のある契約への移行予定のものについて、当該契約ごとに記載すること。
3. 本表は、「公共調達適正化について」(平成18年8月25日付財計第2017号)記3. の記載方法に準じて記載すること。
4. 「移行困難な事由」欄は、平成21年度に競争性のある契約に移行できなかった事由を記載することとし、「移行予定年限」欄は、平成22年度以降の具体的な移行予定年限(例:平成22年度)を記載すること。